



この度の北海道胆振東部地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。当センターでは災害発生後、直ちに災害対策本部を立ち上げ、各部署とのミーティングを定期開催し、全職員との情報共有、意思決定を行いました。

休診等によりご不便をお掛けいたしました。ご理解、ご協力をいただきましたことにつきまして、心よりお礼申し上げます。今後とも全力で防災に取り組んでいきたいと思っております。

～定時ミーティングの様子～



在宅医療支援委員会より

この度の地震、それに伴う大規模停電には驚きました。2年前の熊本地震、今年6月の大阪北部地震と大きな地震がありましたが、まさか、私達の北海道でこのような災害が起こると思ってもみませんでした。なかなか復旧しないライフラインに強い不安を感じた方も多かったと思います。

コドモックルでは万が一の災害発生の際の対応を各部署で検討しておりますが、この度の災害では、それぞれが上手く機能できたのかどうかを確認しているところです。在宅医療支援委員会では、今年度の事業として、災害時に在宅での呼吸管理や栄養管理など医療ケアを必要とする患者様へどのような支援が必要かを検討してきました。まず、人工呼吸器、酸素濃縮装置、在宅静脈栄養

といった生命維持に関わる機器をお使いになっている患者様について基本台帳を作成し、それぞれのご家族（支援者）へ「災害時リーフレット」の配布を始めております。今回の災害前に皆様のご家庭へお配りすることは叶いませんでしたが、今後、万が一の際にはお役に立てていただけるようなものを作成いたしました。

また、多くの医療ケアが必要な患者様のご家族（支援者）の方々に対し、今回の災害を体験し、不安だったこと、お困りのことなどについて、アンケート調査を始めました。今後起こりうる災害に対し、コドモックルとしての対応をよりしっかりとしたものとするための調査です。何卒ご協力の程よろしくお願いたします。